

熱海市総合計画審議会・総合戦略会議
第1回会議結果

開催日時	令和2年1月24日(金) 15時00分～16時15分
開催場所	熱海市役所第1庁舎4階第1～2会議室
出席者	<p>【出席委員】青木委員・石井委員・所(代理)委員・内田委員・内田委員・大館委員・小椋委員・小泉委員・塩見委員・島田委員・鈴木委員・鈴木委員・瀧野委員・中村委員・深澤委員・二見委員・真野委員</p> <p>【欠席委員】佐藤委員・中島委員・渡辺委員</p> <p>【策定委員】副市長・経営企画部長・教育長・市民生活部長・健康福祉部長・観光建設部長・観光建設部次長・教育委員会事務局次長</p> <p>【事務局】経営企画部次長・企画財政課長・企画室長・企画室</p>
会議内容	<p>1. 開 会 (経営企画部次長)</p> <p>2. 委嘱状の交付 市長より各委員へ委嘱状を交付。</p> <p>3. 市長挨拶 本日は、お忙しい中、総合計画審議会及び総合戦略会議委員の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 現在の熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成28年1月に策定され、今年度末を目標年次としています。 また、現在の熱海市の総合計画、これは後期計画でありますけれども、平成28年に策定され、その計画期間が来年度末をもって満了を迎えます。 本日は、現在策定を進めております令和3年度をスタートとする第5次熱海市総合計画と総合戦略を一体的に推進していくため、今年度末で計画期間が終了する総合戦略の1年延長に係るご審議をお願いするものであります。 さて、近年では本市の人口動態を見ますと、社会動態ではプラスとなっているところですが、自然動態では、依然として少子化によりマイナスとなっており、人口減少や少子高齢化の進展という大きな問題に直面しています。また若者を中心とした定住や雇用・就業環境の確保、まちの賑わいづくりなど多くの分野で山積する課題がございます。厳しい経済状況ではありますが、地方分権が進み、地方自治を取り巻く環境も大きく変化することが予想される中で、地方自治体に課されたまちづくりの任務は、今後より一層その独自性や実施効果が強く求められます。 そのような社会情勢の中、熱海市の中長期の青写真となる総合計画及び総合戦略を皆様のお力添えをいただきながら策定して参りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。 なお、現在策定を進めております第5次熱海市総合計画につきましては、本年</p>

<p>会議内容</p>	<p>9月から10月にかけて、ご審議いただきたいと考えております。限られた期間ではございますが、皆様からの活発なご議論をお願い申し上げます。</p> <p>4. 委員自己紹介 各審議委員より自己紹介。</p> <p>5. 正副会長の選出 (1) 仮議長選出 本審議会は、会長1名、副会長1名を置くこととされており、選出について互選により定めることとなっている。選出の方法などについては、仮議長を選任し、仮議長のもとに、委員に諮ることを伝え、仮議長については、市長が務めることを報告。</p> <p>(2) 正副会長就任 仮議長より正副会長の選出については、①委員の皆様より、正副会長の推薦をいただく方法と②選考委員を設けて、そこで選出する方法について委員へ説明。その結果、①委員推薦による選出方法が採られ、会長に小泉委員、副会長に石井委員が選出された。</p> <p>会長 小泉委員、副会長 石井委員 両委員より就任の挨拶がなされる。 (小泉会長) 委員の皆様からのご推薦で、会長を務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。皆様のご協力で行進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。私は熱海市の審議会は、2回目でもちづくり審議会の方に10年前程に参加させていただきました。</p> <p>専門は行政経営や地域計画をやっていますので、研究の上でも大変勉強になると思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。 (石井副会長) ご推薦を受け、副会長を仰せつかりました石井です。この会議において多岐にわたるそれぞれの委員さんの立場からの意見を伺い、有意義にスムーズに進行できる会として進められるよう微力ながら会長を補佐して進めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。</p> <p>※決定事項 会長 小泉 祐一郎氏、副会長 石井 倭雄氏が就任。市長の仮議長職を解く。以後、進行は小泉会長。</p> <p>6. 熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長等について ①第四次熱海市総合計画後期基本計画案、熱海市人口ビジョン案及び総合戦略案等について</p>
-------------	---

企画財政課長より、熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長案について **資料3** **資料4** **資料5** **資料6** に基づき説明。

(内田 進委員)

達成率で起業家支援による創業件数を見直すとのことで、6年間累計で35件とのことですが、会議所の立場から申し上げますと起業だけ見てしまいますとわからなくなってしまいますので、廃業の方も見ていただきたい。飲食業は稼働率がかなり高くなっているんですけども、実態は廃業もかなりございますので、どういう業種が廃業に追い込まれているかというところも市の方で分析をしていただきたいと思います。

(企画財政課長)

今ご指摘をいただきました起業件数につきましては、前回の総合戦略からの目標として設定させていただいておりますので、今後廃業についても分析をして後の計画に反映をしていきたいと思います。

(小泉会長)

飲食店などは小規模事業者が多いので、息子さんが継ぐというのがなかなかうまくいかない中で、事業承継で他の方でというその辺りは商工会議所さんでどのように考えておりますでしょうか。

(内田 進委員)

それは、相談を受けておりますし、商工会議所としても大きな目標となっております。熱海の商店の一番のネックは2所帯が食べられないと、お父さんお母さんがいて息子が戻ってきて結婚してというところの所得、売上が満たせないと、小規模店舗が非常に多いので、また、一度市外へ出ていくとほとんど戻ってこないというのが実態です。悩ましいです。会議所の統計上では、新規店舗の生存期間というのが5年程度というのが非常に多くて、確かに熱海全体では上げ潮というところですが、一見好況のように見えますけれども実は静かにやめられているお店もございますので、その辺もきちんとフォローしないとプラスの件数ばかり上乘せしていくのでは困りますと、そういうことです。

(小泉会長)

飲食店ですと全国的には、新規店でも2年半～3年半くらいで大体廃業する店が出てきますので、そういう意味でも事業承継ですとか事業継続とかそういう部分も含めて対策を進めなければいけないと思います。

(二見委員)

熱海市の出生数が100を切るような状況となって、国際福祉大学熱海病院も

産婦人科がなくなるというような状況の中で合計特殊出生率1.5というのをどうやって維持していくのかということを考えていかなければいけないのかということを考えています。

(真野委員)

熱海の特性というのものもあるかもしれませんが、生活困窮者が増えているような気がします。8050問題ではないですが、引きこもりに関する相談が増えているように感じています。特に50代で引きこもっている方たちの就職先ですとか今なかなか無いのかなと感じを受けていますので、その辺りを含めて計画を立てていったら良いのかなと考えています。

(深澤委員)

ワイズメンズクラブは、青少年育成を主に活動している団体なのですが、子供が年々少なくなっていくというのは、目に見えて減っているなど感じています。熱海市の中で子供を育てる環境、例えば公園なんかも少ないような気がします。よその神奈川などでは、結構新しい公園ができていたりしますので、子供を育てた経験上そんなことをおっしゃっていた母親がいらっしゃいましたので、そのようなことも考えていったら良いんじゃないかと思いました。

(小泉会長)

リノベーションを結構まちづくりの中でも、いわゆる平場の公園だけではなく、屋上だとか空いたショッピングセンターのフロアだとか活用している事例があります。

(中村委員)

税理士業の話でお話しますと、熱海で就業する場所が非常に少ないというのが1つ大きな問題があるのかなと感じています。というのは地形的なところやその他の理由もあるかと思いますが、大きな製造業が無いというところで、製造業ですと沢山の雇用が生まれますが、例えば30代～40代の方たちの働く場所が少ないのかなという感じがしています。

今、非常に観光で好調ではありますがけれども、東海4県下の観光地の状況と比べると、熱海の皆さんの意識の中に熱海は人が来てくれるところなんだという意識があるのかなという気がしますので、もう少し言葉は悪いですが、観光客に優しい、例えばまちの中に公共のトイレが非常に少ないと感じています。岐阜県の高山市ではまちの中に200メートルから300メートル間隔で必ずトイレがあって観光客が使用できるようになっています。まちが非常に綺麗だということもあって、その辺が違うのかなと、あと熱海の場合は、坂のまちということもあるかもしれませんが、非常に道路の作りが悪いなという風を感じておりまし

て、働く場所が少ないというのが一番大きな問題と感じております。若い人がきちんと働けて子育てができる状態が少し少ないのかなという風に思います。

(瀧野委員)

女性の立場といたしますと、話合いの中で皆さんから声が出てくるのは、熱海は物価が高いからねという言葉を目にします。風光明媚で非常に住みやすいまちなんだけど物価が高い、そして考えてみますと物品販売といっても、土産物を扱う店舗など色々ありますけれども、スーパーマーケットですとか、そういった生活に近い店舗が非常に少ないと思います。やはりそこが人口減少の1つの原因になっているのではないかと思います。

また、移住者の方たちのご意見を伺うと、物価が高い、競争をすることがないんだよねというご意見をいただきます。生活する上では衣食住に関するものの購入先が皆さんにとっては少ないよね、そういうところに力を入れていかないと移住もしにくいのではないかと思います。

(内田 進委員)

商工会議所でも、熱海は物価が高いという声を目にします。本当に熱海は高いのかということで同日、同時刻にですねマックスバリュ系の3店で同じ物品を購入しました。結果はほとんど変わりません。車で買いに行ったら赤字になります。ですから熱海は物価が高い、家賃は高いと聞きますが、こと一般消費に対するものにつきましては、マックスバリュで買うものについては、他とほぼ同じと考えていただいてよろしいかと思います。一般商店の値引きなしのものを買うと確かに高いと思いますが、それを言ってしまったら一般商店は成り立ちませんので、その辺は悩ましいところです。

(鈴木 卓委員)

熱海の医療問題として見たときに先ほど産科については、お産が熱海でなかなかできなくなるということで、非常に大きな問題なんです、それとほぼ並行してですね、小児科の問題も非常に大きなものとなっています。熱海市としては、高齢者が多いので、高齢者への医療としては、在宅の問題とか施設とかいろいろ力を入れておりますが、小児、それからお産とそういったところの医療が将来・未来の熱海の人口となる基本となるべきそういったところの医療がやはり勤務しております医師も高齢化が進んでおりますし、専門分野の関係があつてなかなか小児、産科を担える医師がほとんどと行って良いほど熱海にはおりません。そんな中で、これまでやっていた小児医療、産科医療をこれからどうしていくのかというところで、なかなか良い案が浮かばないことも事実なんです、それでも知恵を絞りながら100%とは言えなくても、できる限りその辺りの現状を継続

していけるような準備をしているんですが、なかなかその辺りが厳しいなという印象です。

(鈴木 滋委員)

資料の5ですが、先ほど商工会議所の会頭さんがおっしゃいました労働力の確保について誤解があるといけないと思いますので、説明をさせていただきますが、人材マッチング支援や職場体験等の事業により市内就労に結びついた人数と書いてありますが、実績値で29年、30年が0とありますが、これは0ということはありえないんですね、人材マッチング支援や職場体験等の事業というところで切り取れば確かに0かもしれませんが、今日はデータを持ってきておりませんが平成30年度の熱海に全国から就職されたという数字では587名、平成29年度では680名、28年度676名、それに比べると平成30年度は100名ほど減ってはおりますが、それでも熱海にそれだけの方が就労されているという状況があります。年齢分布は持ってきませんでしたので何歳の方がどれくらいというのは申し上げられませんが、ですのでここに書いてあります実績値の0というのはどうかなというところと、その横に取組み状況として静岡労働局との協定による取組み強化とありますが、熱海市との協定は就職全般では無くて旅館ホテル業に特化した協定となっています。これに関しては、他の市町では全体的な協定を結んでおりますので、今後熱海市との協定も見直していきたいと考えております。

(島田委員)

熱海温泉は非常に好調と皆さんに言われて私も色々な会議で外へ行きますと、言われておりますが、実態は今まで大型旅館が熱海をけん引してくれておりましたけれども、外資の方に変わり熱海らしいというんでしょうか、日本旅館の形態がどんどん崩れてきているのが実情です。バイキングに変わり、部屋出しがなくなり、温泉に入って食事を食べて帰るといった日本旅館の良さが失われつつありますので、熱海らしい厚みのある日本旅館を構築しなさいなと考えるところではあります。

(塩見委員)

小中義務教育に関しましては、市の予算をだいぶ割いていただきまして、整備等恵まれた状況でございます。ありがとうございます。それに対して、では将来子供達が熱海に戻ってくるかということを考えますと、そうではなくて先ほどの就業場所の問題であったり、色々な影響の中で、実際には帰ってくる子供たちが非常に少ないというのが現状であります。先ほどの評価シートの中で若者の移住定住の奨学金制度に関わるものですが、ギリギリだけ達成しているとのことで

すので、ぜひ20代、30代が熱海に戻ってきて通常の生活ができるような手を打っていただければと思います。

(小椋委員)

私は、市内で働いているんですが、以前は熱海に住まいがありまして、職場も熱海ということもあって、熱海に住みたいと思って探してはいたんですけども、熱海は駐車場が高くて、また、山の方へ行くと冬は雪で通勤に不便なときがあるといった声を聞きまして、違うまちへ移ってしまったんですが、色々なお話を伺った中で今住んでいるまちは公園も充実しておりまして、子供を育てるといった環境は重要だと思います。

(大館委員)

建設の関係でお話しますと、建設のまちづくりという観点ですと、熱海の駅から起雲閣まで熱海らしい街並みを味わいながら降りてくるというのは、以前に比べると少なくなっていると思いますので、その辺りの推進を進めていったら良いのかなと思います。銀座通りなんかは昼間は食堂なんかたくさんできてお客さんで賑わっているんですけども、それに加えて初川の通りなんかも特徴のあるまちづくりを進めていただければ、一連の導線ができるのかなと思います。また、梅園から糸川についても導線をうまくできないのかなと思います。

また、別荘所有者についても、熱海の人口からすると相当な数になると思いますので、そういった方たちへの対応というの也要えなければいけないのかなと思います。

(内田 昌男委員)

13年ほど熱海市内の勤務地で仕事をしておりまして、熱海の街並みや人がすごく好きでして、色々各市町様々な課題を抱えている中で、インバウンドへの対応に対して熱海市は積極的でないというのが印象にあります。そもそも国内の観光客が今熱海に来てくれているという状況を考えると外国人観光客に頼らなくて良いよねという気持ちはすごくわかりますし、逆にマナーの悪さとかを考えると、2030年には外国人観光客が逆転すると言われてまして、日本の人口も減少ということで、あと10年ほどと考えるとインバウンドへの対策をしっかりとやっていかないと、いざ外国人を受け入れなきゃというときに時すでに遅しといった印象を感じます。実際労働人口も外国人労働者に頼っているところを考えると欧米の方は高いお金をかけて旅行に来ると聞いておりますので、そういった対策もこういった計画に盛り込んでいかなければならないと思いました。また、みなさんと情報共有をしながら良いものを作りあげていければと思います。

(所(代理)委員)

本校では、特にこの2年になるんですけれども、熱海市を始め地元の企業、文化団体、特技や専門をお持ちの個人の方に学校に来ていただきまして、地域に開かれた教育課程ということで地域との協働によって高校教育を改革するというような文部科学省の研究事業にも指定されております。その中で特に生徒が地域に出て行って職業を体験させていただくといったインターンシップ的な活動を増やしたところが本年度卒業する生徒の学年なんですが、就職での地元地域への就職するという割合が増えております。これは地元の企業あるいは仕事がどのようなことをしているのかということを知らずに単に都会ですとかに出ることが多かった中で実際に働いてみると地域とつながって活躍できるというそういう経験をさせていただくことで地元が目が向くという経験を我々はさせていただいております。そういうことと次の年度から熱海高校は入学者の募集クラスが1つ減らさざるを得ない状況になっております。これは全国的にお子さんが少なくなっていくという中で地域を支えていける人材を1人でも多くというふうなことを目指してそういった意味でお子さんが減っていく中での教育の質という意味ですが、あるいは地域に対する関心ですとか責任感を持つという質のたかさを1つ求めていくというような考えで進めているところでございます。

(青木委員)

実績値が平成28年度から出ていますが、見てて思ったんですが、総合戦略の進捗状況評価シートの目標であるとか、今後目標を修正するといっている目標を本当に目標としてしまって良いのかと思っていて、例えば日本の温泉100選総合ランキング1位を目指すということですが、当初値を一度も上回れていないまままきているのにこの取組みを続けて良いのかとか、起業家支援による創業は目標値を超えているということだったんですけれども、目標値をあらためるに当たりその数値で良いのかといったところや、目標3でいうと熱海に必要な情報の到達度について、チェックできない項目を目標にしているとか、先ほどの労働力の確保の件とか、子育てを楽しいと感じているひとの割合について、調査の30年実績が不明なまままきているとか、この目標で良いのかというところを全体としてかんじるんですが、また、宿泊客325万人を目指していますが、人口が少なくなっていく中で、その宿泊客に耐えられるのかとか、そういう目標同士の横の関係性みたいなものも、これで良いのかとかすごく感じるんですけれども。

(小泉会長)

この会議はこれから新しい総合戦略を総合計画とセットで策定するというところで、10年に1回のお話をこれから来年度にかけて主にはじまるので、それを今

いっていただけると、それを踏まえての作業にいかせるんですが、これが9月頃になって今のようなご意見をいただいても対応が間に合わないというお話もありまして、今のご意見は非常にありがとうございました。

(石井副会長)

まず、私は総合戦略の延長ということに関しては、それについては国の方でも可能だということと、整合性という点で色々重複しているということで致し方ないことかなと最初に申し上げます。

町内会の状況は少子高齢化に伴っていろいろな問題がでております。維持するのが大変という。町内会の年予算についても年々減って行っているのが現状です。ただ1町内だけは黒字ということで、他は全部大変で活動についても大変で予算の面と同時に役員の成り手が高齢化していて次期の人たちが中々出てこない。いろいろな行事をやるにしても、成り立たなくなってこれまで参加していたものが参加できなくなるという、活性化ということではどこの町内でも苦勞しております。ただ、熱海市でも今度地域づくりの先進の先生をお呼びして、地域づくりをどうしていくかということで内部的に今、そういう現状で困っているんだと、今の現状の中で町内をどうやって活性化させるかと、そして生きがいを持つ町内活動を作っていくかということで勉強会を市の方でリードしていただきまして、問題意識は各町内持っておりますので、そういった勉強会を始めております。ただ、それもやはり今の現状は変わっていないんですね、人口の年齢比ですとか、現状でどのように活性化させていくかということをやっています。内田委員が先ほどおっしゃっていた物価の問題ですが、これはどこでも同じ話が出ますが、他市にも買い物に行きますが、マックスバリュは統一してますね。ただ、選択肢が熱海は無いと思うんですね、なので確かに内田委員が言うようにガソリンがどうだってこともありますけど、熱海も他市町並みに選択肢があっても良いと思うんですよね。ただ、地域上、地形上、中々できないという立地条件で難しいということがありますけど、実態とすると買い物に行く人から聞きますと、やはり高いところで30円から40円変わるそうです。そういうことから駐車場の料金の問題なども含めて確かに現実にはそういった問題があるのかなといった話が、色々な話の中でまちの人達の間では良く出ます。

(小泉会長)

総合計画と総合戦略の関係ですが、総合計画はいわゆるビジョンということで将来像でございますから、来年度策定していくということでございますので、ビジョンが上でそのための方針が総合計画であって、総合戦略というものはその下でございますから、戦略を先に作るというのは、逆転現象ですから、当然これは

延長して、来年総合計画であるべき姿、方向性を議論する中で戦略の再構築をす
るということは当然でして、良いことだと思っております。

ただし、通常戦略の目標値は変更しないんですよね、評価するときに目標値が
戦略をやっている途中に動かすというのは良くなくて、目標値を超えても良いん
です。目標値を超えそうだから動かしますというのは、目標値を超えていてもも
っと頑張れば良いわけで、結果的にどうかということで、一般論からすると展開
している途中で目標値を達成したので上げるというのは役所は真面目なのでや
るんですが、考え方的には目標値は動かさないでにおいて、どれだけ超えたかをむ
しろ後で見なければ良いというのが一般的ではあると思います。ただ、行政のやり
方がありますのでそれはそれで結構ですが。

(経営企画部次長)

色々なご意見ありがとうございました。まずは、今委員長からもありましたが、
次回の総合戦略、総合計画を策定する上で、今日いただいた意見につきましては、
反映をしていく形で策定に臨みたいと考えております。

青木委員からご指摘がございました。目標設定がこれで良いのかというところ
ですが、まさにご指摘をいただいたとおりでと思います。目標どうしの横の関係
性これらについては、意識しない形で作られたものだというような所を認識いた
しました。これらの目標は、当時は各部署ごとで設定したものだと思われま
すので、総合戦略第1回目の策定であったことから、そもそもの設定に何が適して
いるのかということを探しながら設定をしたものでございます。今いただきました
ご指摘などにつきましては、次回のKPI設定につきましては、横同士の関係
性ですとか、そもそもの目標が評価可能かなどの適合性などを十分に検討した
上で策定に心掛けたいと思います。

(小泉委員)

事務局に1つお願いですが、事務局の方から資料の説明があつてどちらかとい
うと、こういう会議になると市の方の説明が長くて、資料もたくさんあつて説明
を聞く時間が長くて、できれば資料は事前に見ていただく中で説明はある程度ポ
イントを絞っていただいて、また、資料に書いてあることしか聞いてはいけない
ということではありませんので、むしろ資料に関係のないご意見も含めて出して
いただくのが良いかなと思います。市が進める施策といっても実際の担い手は、
経済界の方だったり各種団体の方だったりするものを市がどうやってサポート
していくかというところがございます。市の施策とあり方もあるんですが、それ
を受けて各団体、経済界の皆様や色々な機関におかれても、委員相互で情報交換
などして活かしていくことが良いと思います。

また、この会議形式が結構限界がございまして、市の方である程度案ができた
ら委員の方にペーパーなどで意見を聞いていただいたりとか、場合によっては出
てきたものについては、お電話などの方法でキャッチボールをやっていただくと、
時間が限られているなかで、ある程度踏み込んでご意見を聞こうとすると個
別にやらないと掘り下げた意見が聞けないというところがございますし、そこ
でのやりとりが市が施策を展開する上で非常に重要でして、企画部門の方が、各
委員の窓口になるんですけども、場合によっては各部の方のむしろ若手の方が聞
きに行くというなことをやっていただくとよろしいんじゃないかなと思います。

ということで総合戦略の1年延長案については、ご異論が無かったというところ
ですので、承認としたいと思います。

(経営企画部次長)

今後の会議日程につきましては、本年9月～10月までの間に第5次熱海市総
合計画のご審議を5回程度予定しております。審議会の会議日程は決定次第改め
て開催通知にてお知らせいたしますので、お忙しいところ恐縮ですがご出席をお
願い致します。

また、先ほど委員長の方から提案のありました意見交換などの方法につきまし
ては、何かしらのアクションをとらせていただきたいと思いますので、その節にもよ
ろしくおねがい致します。

以 上